

**2007年 大学生の就職活動実態調査
～ '08採用の実態 ～**

株式会社 gusiness
就職偏差値 事業部

2007.05.10

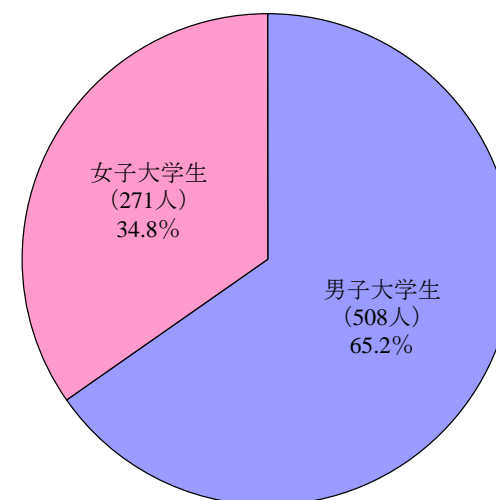
1. 当調査の概要および属性データ

- 調査名 : 大学生の就職活動実態調査
- 調査目的 : 現在大学4年生に、就職活動の状況について調査
- 調査内容 : 学校名、学部学科名、内定先企業名、OB・OG訪問、インターンシップ、購読新聞 など
- 調査対象者 : 全国の大学4年生
- 有効サンプル数 : 779サンプル数
- 調査方法 : インタビューによる調査
- 実施期間 : 2007年3月15日から2007年4月30日に実施

今年度は、大学生のみを対象に調査を実施。当調査の有効サンプル数は779であり、サンプルの属性については右側に示す通りである（図表1）。

【図表1】

属性：全サンプル=779



2. 調査結果

A. 内定先企業についての調査

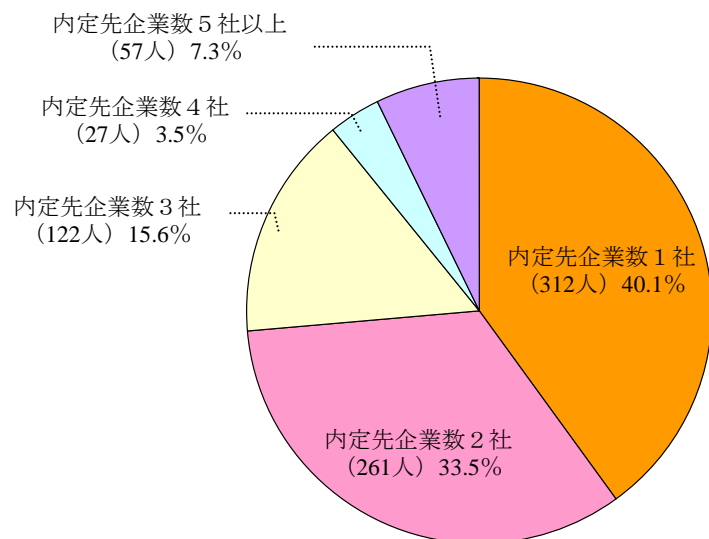
① 内定先企業数について（図表2-1）

大学4年生の、4月末時点での内定先企業数について調査した。調査結果では、平均内定数が2.0社であった。内定先企業数1社が40.1%であり、以下、2社が33.5%、3社が15.6%、4社が3.5%、5社以上が7.3%となっている。

昨年度調査（2006年8月実施）と比較すると、昨年度は内定先企業数1社が37.7%、2社が41.9%、3社が15.2%、4社が3.2%、5社以上が7.2%とであった。複数の企業から内定を得ている学生の割合が、昨年度よりも高まったと言える。昨年度の内定辞退率※が36.6%だったが、今年度は既に51.1%となっている。まだ、就職活動期間が残っていることから、この値はより高まると予測される。

※ 内定辞退率 = (総内定数 - サンプル数) ÷ 総内定数

【図表2-1】 内定先企業数：全サンプル=779



② 業界別内定数について（図表2-2）

次に、内定先の企業を業界別に分析した。分析結果では、内定数が最も多いのが「銀行」であった。次いで「情報・通信・同関連ソフト」となっている。この両業界は3位以下の内定数を大きく引き離している。

【図表2-2】 業界別内定数：総内定数=1593

順位	業界名※	内定数
1	銀行	209
2	情報・通信・同関連ソフト	185
3	商社・卸売業	110
4	人材・教育	101
5	証券	76
6	その他サービス	73
7	電気・情報機器	65
8	損保	60
9	その他小売	59
10	パルプ・紙	49
11	広告	43
12	生保	40
13	信販・カード・リース	35
14	食品	33
15	ホテル	29

※業界数は全部で49業界あるが、今回はその上位15業界について表示。

2. 調査結果

③ 業界別辞退率について (図表2-3)

ここ数年、内定を辞退する学生の割合が増えていることが着目されている。そこで、卒業後に入社を予定している企業について回答してもらい、業界別の内定辞退率について分析した。分析した結果、辞退率が最も高かったのは「信販・カード・リース」の68.6%であり、以下「パルプ・紙」の61.2%、「その他小売」の61.0%と続く。内定数上位15業界中、最も低いのが「広告」の27.9%であり、業界毎に差があることがわかる。

【図表2-3】 業界別内定辞退率：総内定数=1593

順位	業界名	辞退率
1	信販・カード・リース	68.6%
2	パルプ・紙	61.2%
3	その他小売	61.0%
4	生保	60.0%
5	情報・通信・同関連ソフト	57.3%
6	銀行	55.0%
7	証券	50.0%
8	人材・教育	48.5%
9	電気・情報機器	47.7%
10	損保	46.7%
11	その他サービス	45.2%
12	商社・卸売業	41.8%
13	ホテル	41.4%
14	食品	39.4%
15	広告	27.9%

④ 内定辞退の理由について (図表2-4)

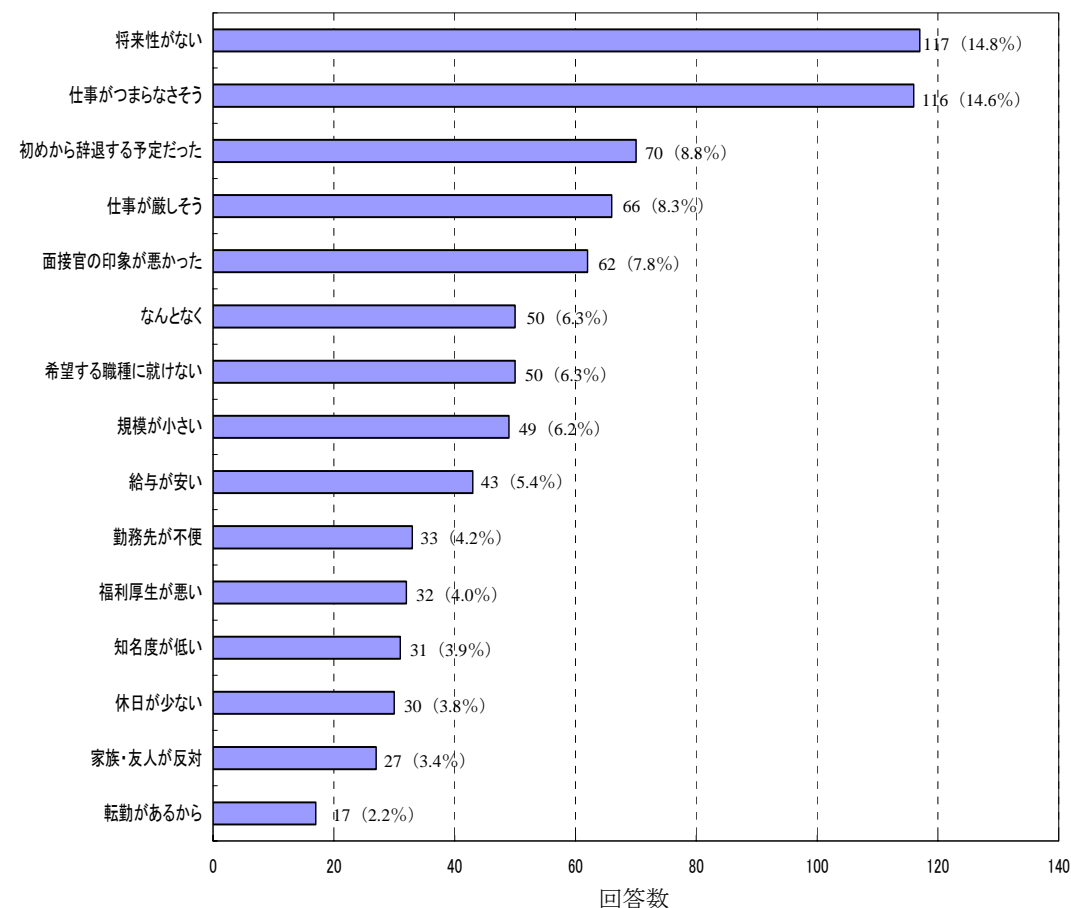
内定を辞退する決定要因について分析するため、辞退する(予定)企業を決めた理由について調査した。

調査結果では、「将来性がない」の14.8%が最も多く、次いで「仕事つまらなそう」の14.6%、「初めから辞退する予定」の8.8%となっていた。

【図表2-4】

内定を辞退する理由：回答数※=793 (複数回答可)

※複数内定者のみ回答 (サンプル数=467)



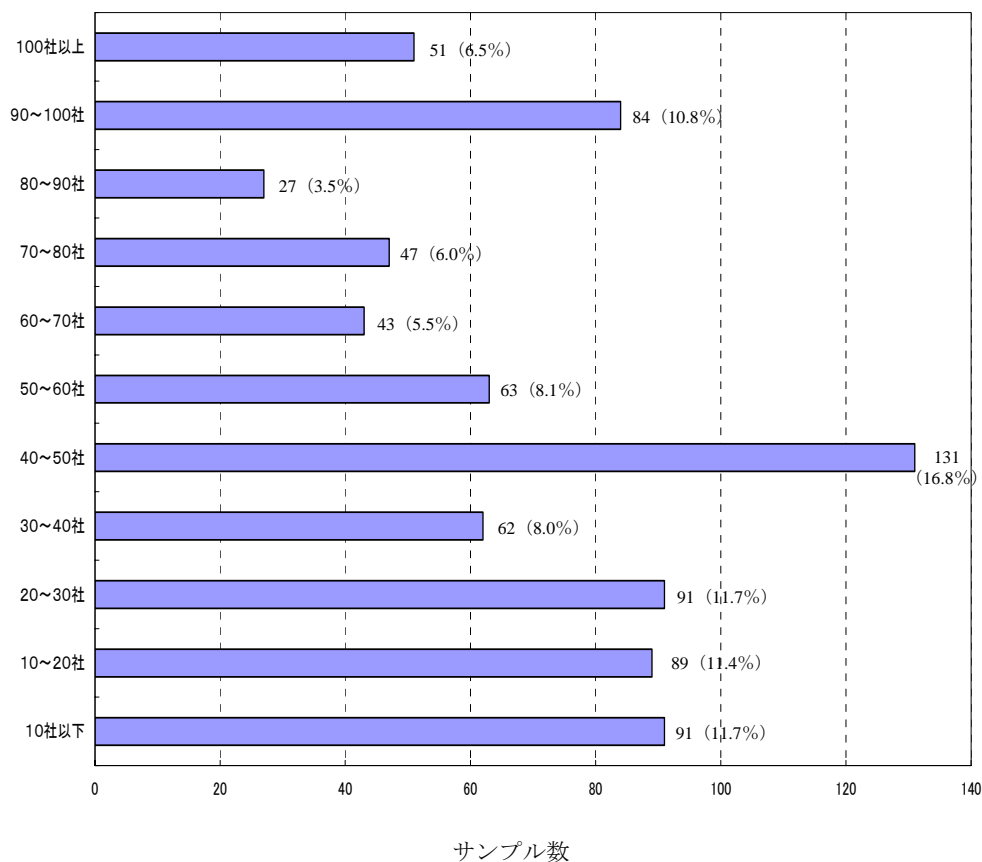
2. 調査結果

B. 就職活動についての調査

① エントリーした企業数について (図表2-4)

現在の就職活動では、インターネットによる登録（エントリー）が就職活動のスタートである。そこで、エントリーした企業数について調査した。調査結果では、エントリー数の平均が54.7社であった。調査では「40社～50社」（16.8%）が最も多いが、100社以上の企業にエントリーする学生もいるなど、数についてはバラツキがある。

【図表2-4】 エントリーした企業数：全サンプル=779

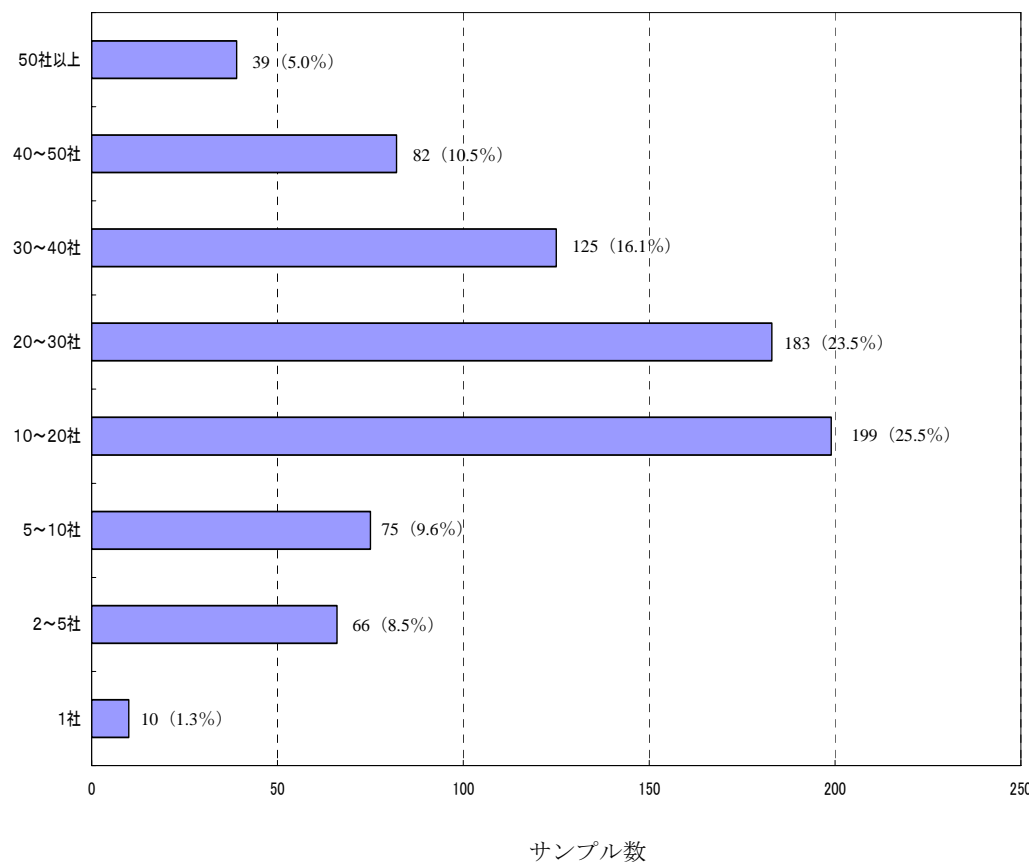


② 会社説明会に参加した企業数について (図表2-5)

エントリーの後、会社説明会へ参加した割合を分析するため、会社説明会へ参加した企業数について調査した。

調査結果では、会社説明会への参加数は平均が26.9社であった。会社説明会に参加した企業数をエントリーした企業数で割った平均参加率は49.1%であった。このことから、半数近くの企業が、エントリーのみということになる。

【図表2-5】 会社説明会に参加した企業数：全サンプル=779



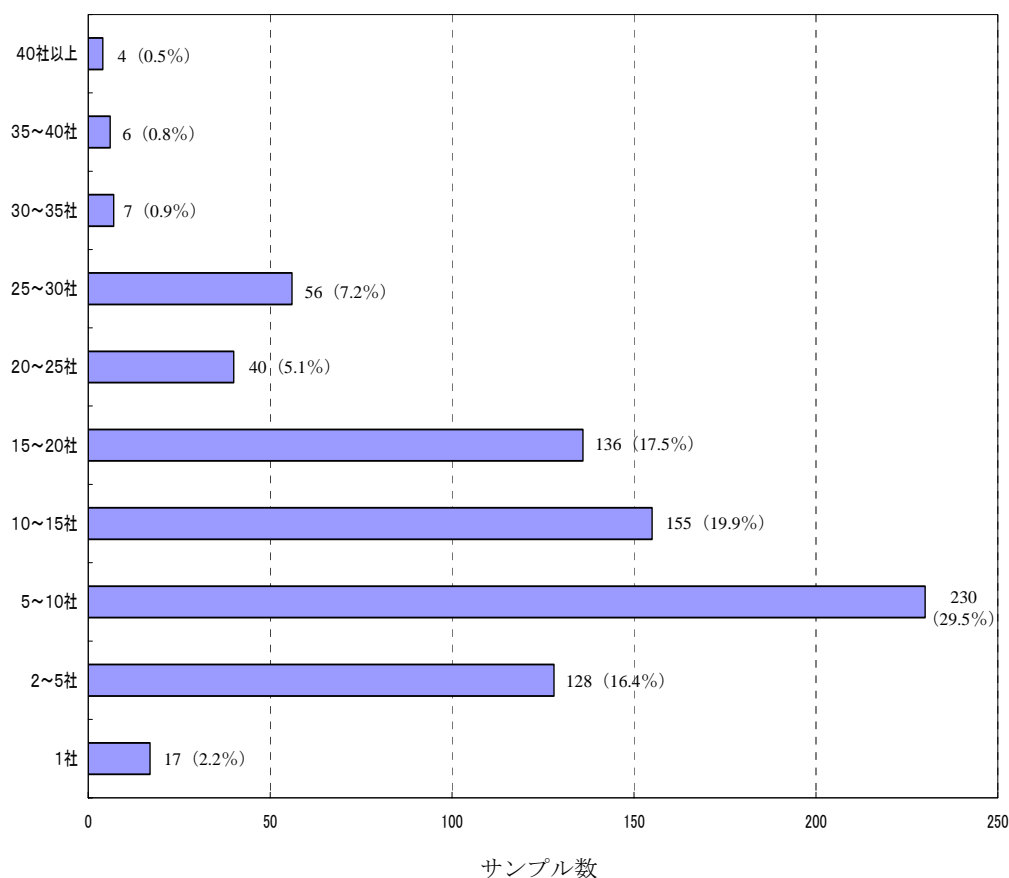
2. 調査結果

③ 面接を受けた企業数について (図2-6)

会社説明会に参加した後、面接を1回でも受けた企業数について調査した。

調査結果では、面接を1回でも受けた企業数は平均13.5社であった。このことから、会社説明会から面接までへの到達率は51.9%であった。

【図表2-6】 面接を受けた企業数：全サンプル=779

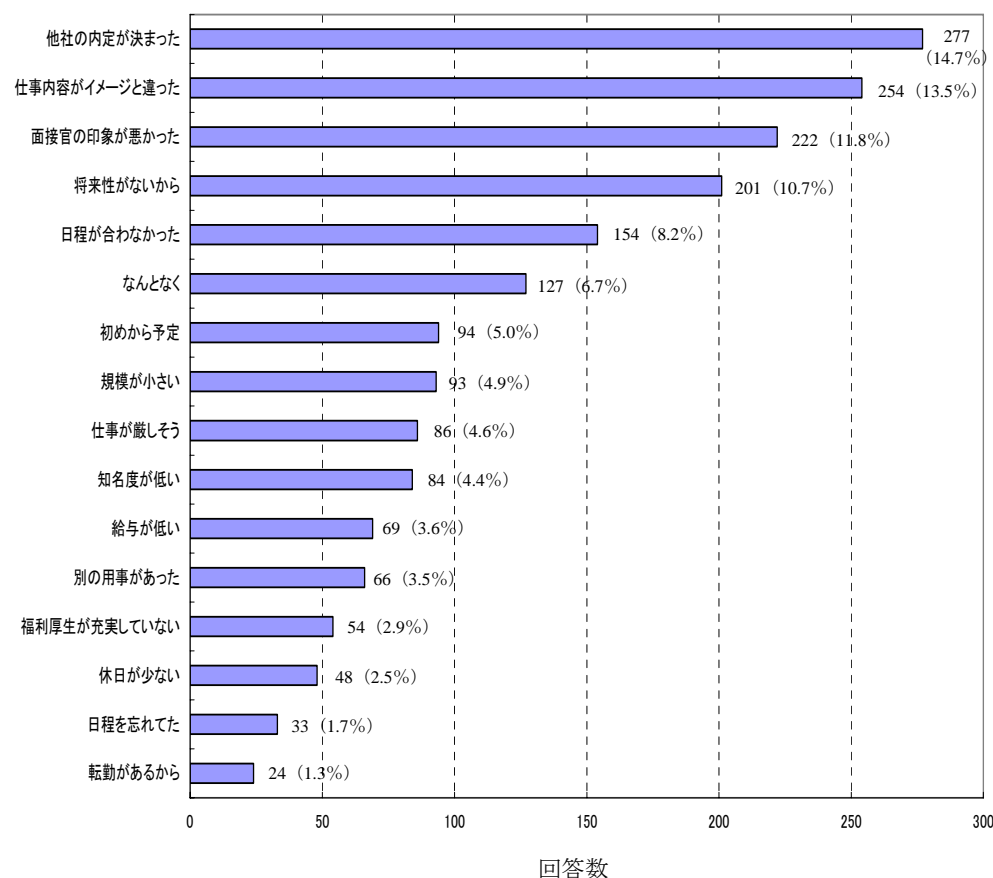


④ 途中で辞めてしまった理由について (図2-7)

就職活動中、企業へのアプローチを辞めてしまった原因について分析するため、会社説明会、もしくは面接に行くのを途中で辞めてしまった理由について調査した。

調査結果では、最も多かったのが「他社の内定が決まったから」の14.1%であり、以下「仕事内容に興味を持てなかった」の12.9%、「面接官の印象が悪かった」の11.3%と続いている。

【図表2-7】 途中で辞めてしまった理由：回答数=1886 (複数回答可)



2. 調査結果

C. その他

① OB・OG訪問について（図表2-8）

ここ数年、企業側の採用方法の一つとして、リクルーター制が復活したことが話題を呼んでいる。そこで、OB・OGを訪問（接触）した学生について調査した。

調査結果から、OB・OGと接触したことがある学生は56.2%であった。昨年（2006年1月実施）の調査では、46.1%であったことから、10.1ポイント高まったことになる。

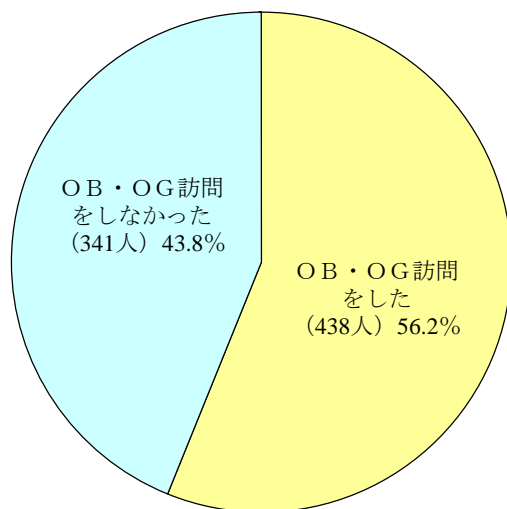
② インターンシップについて（図表2-9）

学生の職業感を醸成するため、大学側でもインターンシップを推進している。また、会社の雰囲気や仕事への理解を得るため、導入する企業も増えている。

調査結果では、インターンシップへの参加率は26.8%。昨年（2006年1月実施）の調査では、13.4%であったことから、2倍になったことになる。

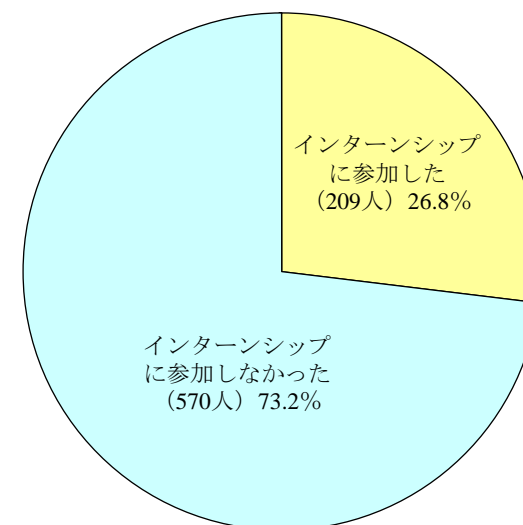
【図表2-8】

OB・OG訪問：全サンプル=779



【図表2-9】

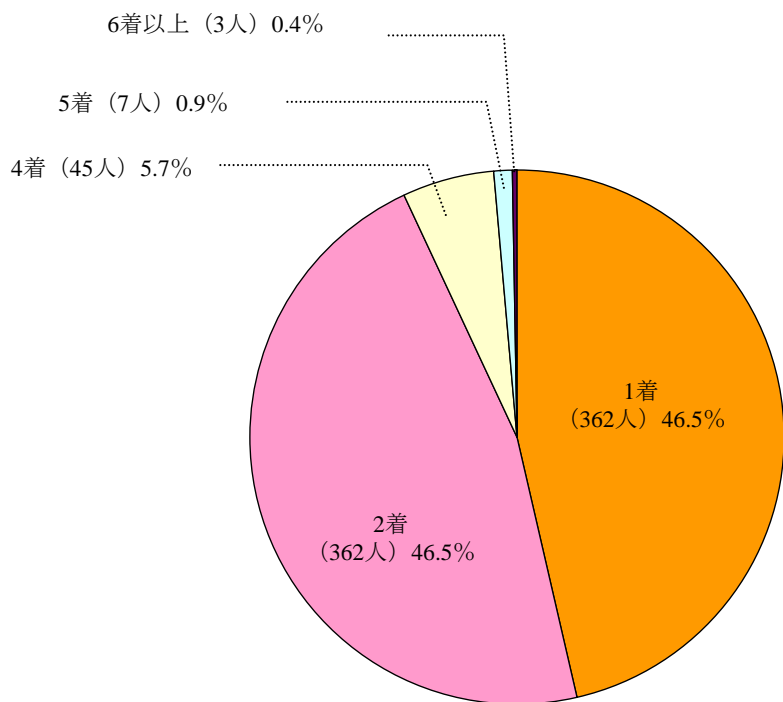
インターンシップへの参加：全サンプル=779



③ リクルートスーツについて (図2-10)

就職活動の必需品であるリクルートスーツは、何着持っているかを調査した。調査結果では、平均1.6着であった。男性の平均は1.6着、女性の平均も1.6着であり、男女間での差はないようだ。

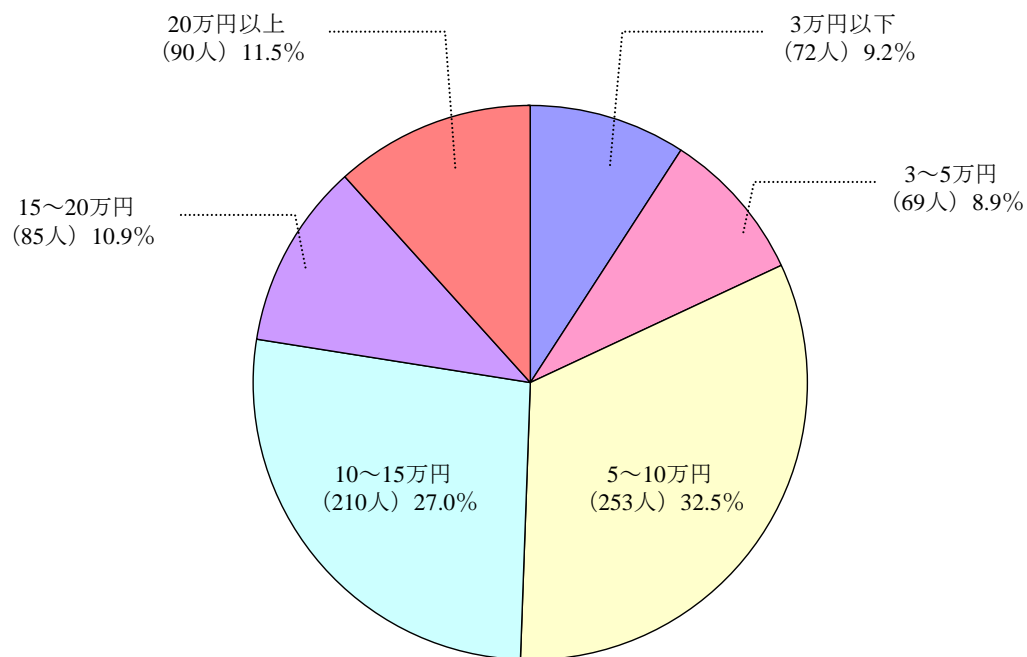
【図表2-10】 リクルートスーツの数：全サンプル=779



④ 就職活動にかかる費用について (図2-11)

学生においては、就職活動中は何かと物入りである。そこで、就職活動で使用した費用の総額について調査した。調査結果では、平均が96,883円。男性の平均は96,707円、女性の平均は97,214円と、男女間の差はほとんどないようだ。

【図表2-11】 就職活動にかかる費用：全サンプル=779



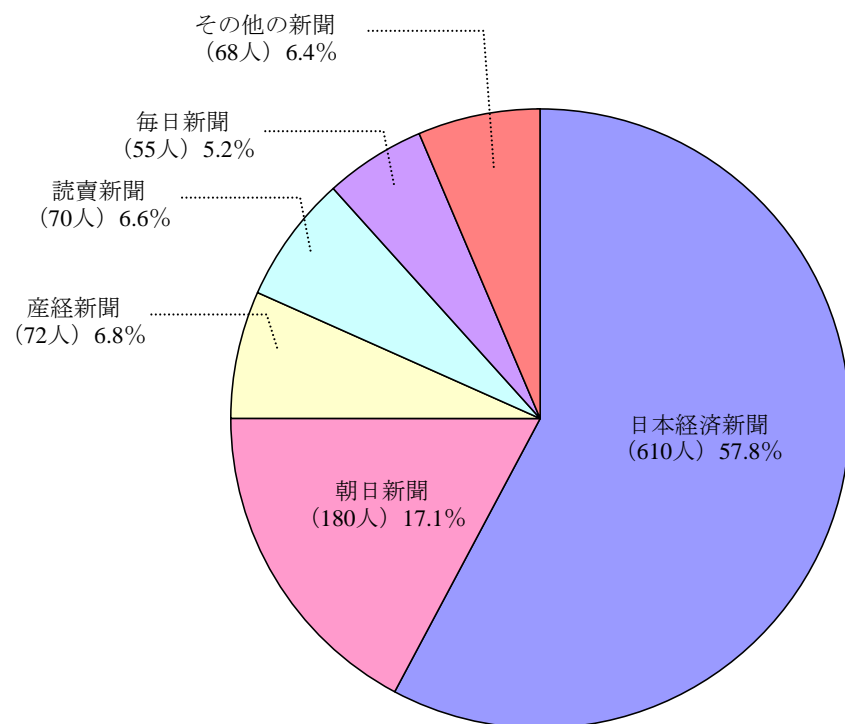
2. 調査結果

⑤ 就職活動に役立つ新聞について（図2-12）

新聞を購読することは、企業の情報を得るだけでなく、筆記試験対策などにも活用できる。そこで、就職活動に役立つ新聞について調査した。

調査結果では、日本経済新聞が57.8%であり、次いで朝日新聞の17.1%であった。昨年（2006年1月）の調査では、日本経済新聞が35.1%であったことから、22.7ポイント高まったことになる。

【図表2-12】 就職活動に役立つ新聞：回答数=1055（複数回答可）



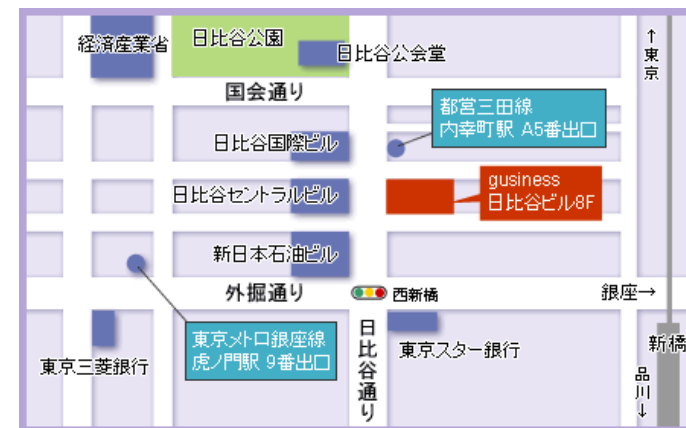
【本調査に関する問合せ先】

株式会社gusiness 「就職偏差値」事業部

〒105-0004 東京都港区新橋1-1-1 日比谷ビル8階
TEL 03-3519-6610 FAX 03-3519-6620

3. 会社概要

- 会社名 株式会社 gusiness
- 設立 2003年12月3日
- 資本金 1500万円
- 役員構成
 - 代表取締役 園田雅江 (Sonoda Masae)
 - 取締役 岡部 節 (Okabe Takashi)
 - 監査役 竹内利明 (Takeuchi Toshiaki)
- 本社所在地 東京都港区新橋1-1-1 日比谷ビル8階
- 電話 03-3519-6610
- FAX 03-3519-6620
- 従業員数 20名 (契約社員を含む)



就職**偏差値**テスト

<http://www.gusiness.com/>

<http://www.hensachi.jp/>

【事業概要】

- 就職偏差値 :大学生向けの就職支援サイト。志望企業の内定判定、業界適応率から、全国レベルの偏差値までを提供しております。
- 採用コンサルティング :企業の採用支援。採用方法や面接方法など、採用でお困りの企業をサポートしております。
- 人事コンサルティング :人事制度の改定から設計、運用サポートなど、企業の人材に関するアドバイスをしております。
- 新入社員研修 :ビジネスセンスを磨くため、体験型の研修を提供。コンピューターシミュレーションを使った擬似体験で訓練します。
- 管理職研修 :製造業、小売業向けに経営全般を学ぶ体験型の研修を提供。シミュレーションを活用した、リアルな体験の中で、意思決定の多様性を体感します。
- ビジネス体験プログラム :中学・高校生向けの体験型学習。経済産業省の委託により、全国の中学・高校生を対象に、授業の中で、ビジネスを教える授業を展開しております。